



# わが家のアイドル

東中にお住まいの

佐藤 千誉さん・文子さんの

いちか  
長男 一 奏くん (10か月)



元気いっぱいの一奏です。  
何でも口に入れてしまいます。  
タオルは大好きです。  
人見知りだけど見かけたら声をかけてくださいね。

## 下田市内の指定文化財

その48

下田市指定無形民俗文化財

### 山随権現祭幡廻し

所在地 加増野報本寺

昭和51年5月27日指定

加増野の報本寺で行われる山随大権現祭は、元来、不慮の死をとげた領主（山随軒または山城守）の霊を祀る行事に、厄除け、五穀豊穡への祈りが加わった祭典です。特に「幡廻し」は、地域に古くから伝わる民俗行事として、下田市の文化財に指定されています。



迫力のある幡廻し

#### 山随権現とは

諸説ありますが、室町時代末期から戦国時代にかけて土肥の豪族であった富永氏が深く関わっていると考えられています。

います。一説には、土肥城主の富永山随軒が、ある時、自分の領地である加増野を通過しようとしたところ、家来に誤って弓矢で射殺されてしまいました。その後、村に悪病が流行したため、人々は祟りとして恐れ、灯籠をつくって祀ったのが、山随権現の始まりとされています。

山随軒の命日である8月11日に行われます。前日には幡廻しの幡となる竹や、山門の花飾りを用意し、夕方に山随権現を本社（加増野東の窪）から報本寺へお迎えする行事があります。

当日は、幡廻しを行う若衆30人が浴衣姿で寺に集まり、午後4時より川で身を清め、無言のまま水の撒かれた境内へと戻ります。

太鼓と鉦の音を合図に若衆は境内を3回廻ると、幡を担ぐトラやネモチ（根持ち）の若衆が円陣を組み、態勢を整えます。

ハタガシラが幡を持って、地面を3回突くと、トラが幡

を支え、ネモチが幡の根元にしがみつきます。そしてアトヒキの若衆がネモチの帯をつかんで数珠繋ぎとなり、準備万端になります。

祝詞の後、「ホイホイ」という掛け声で、幡廻しが始まります。若衆が一丸となり、倒れそうになる幡を懸命に支えながら計9周、境内を廻って終了します。この間、幡を倒してはならず、無事に廻りきれば豊作が訪れるとされています。



ハタガシラが、幡を3回地面に突く

歴史ある山随大権現祭は、今年の夏も行われます。皆さんも勇壮な幡廻しを見に行ってみませんか。

#### アクセス

下田駅より松崎方面バス山随院前バス停下車徒歩3分

#### 問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎ 235055

